戦争止めよう！

地域からの取り組み交流会

―　***東京が・・京都が・・・***

日本全国が危ない！―

■　本年度中に、中国本土に届くトマホークと１２式地対艦ミサイル（能力向上型）が全国各地に配備されます。このミサイルとトマホーク配備反対は喫緊の課題となっていますが、戦争の準備は沖縄・先島諸島・西日本から全国へ拡大する基地建設・強靭化だけではなく、地域でも市民生活に入り込む形で急速に進行しています。

■　自衛隊は、ハード面では、市民への説明もせずミサイル弾薬庫建設、基地の強化拡大・地下化を強行し、ソフト面では、地域のお祭りをはじめ、学童、小・中・高・大学の体験学習・学園祭、共同研究、安定就職先、自治体職員の訓練参加等々、あらゆるところへ入り込み、愛される自衛隊・軍民共生を浸透させようとしています。

■　しかし、沖縄戦の教訓で明らかな様に「軍隊（自衛隊）は市民を守りません。近代戦の歴史は、戦時下においては、軍人と民間人、又は軍事目標と民用物を分離し、引き離す以外にそれらを守ることが出来ないことを教えています。それ故、国際人道法（ジュネーブ条約追加第一議定書）は戦時は勿論のこと、平時からの軍民分離を加盟各国に義務付けているのです。日本も批准した国際人道法にある「軍民分離原則」を活用し、人命最優先（命どぅ宝）の地域、ピースゾーンづくりで、都会のど真ん中にある基地撤去をめざす、平和と安全つくりの取り組みが今求められています。

■　交流会では、１）司令部機能が集中する首都圏の米軍・自衛隊の現状と動きについて報告を受け、２）戦争止めよう！沖縄・西日本ネットワーク東京行動のふりかえり、３）行政に対し「軍民分離で市民を守れ」と求めた神奈川県要請行動をはじめとする地域のとりくみ報告を受け交流します。

■　ZOOM 参加も可能ですのでぜひご参加下さい！（ZOOM 参加希望の方は連絡ください。）

日時　**7 月 27 日（日）13：00 ― 14：30**

（第二分科会開催と同じ会場で、分科会の後に交流会を行います）

場所　**相模原市民会館、第１会議室（３階）**

連絡先　**高瀬**　haruhisa-takase@nifty.com　080-1082-9980

神谷　kamiyamune1@gmail.com　090-5304-5637